

2005年度経営プラン

～ 中間フォロー～

2005年11月11日

取締役社長 石原 廣司

 古河電気工業株式会社

We can.

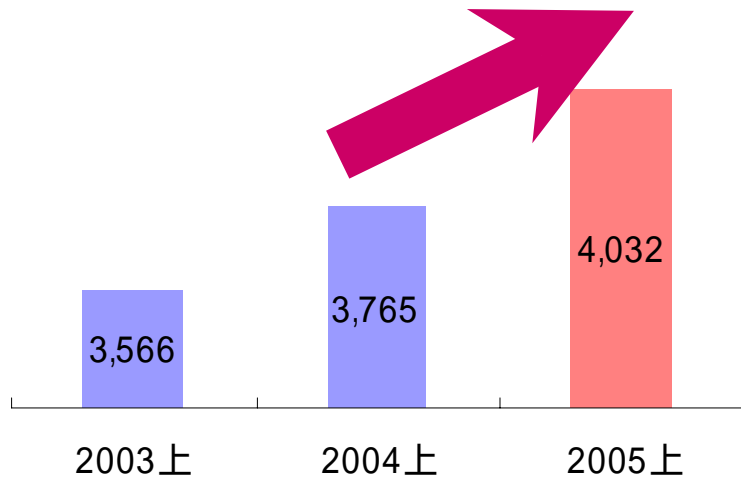
2005年度上期ハイライト
2005年度通期プラン
セグメント別事業プラン

2005年度上期ハイライト

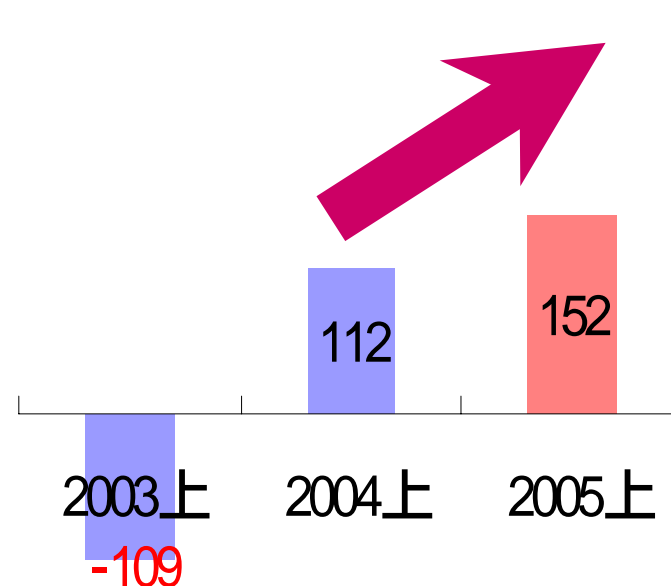
売上高・営業利益が回復

単位: 億円

上期売上高実績



上期営業利益実績



営業利益は前年同期比 +40億円 (+36%)

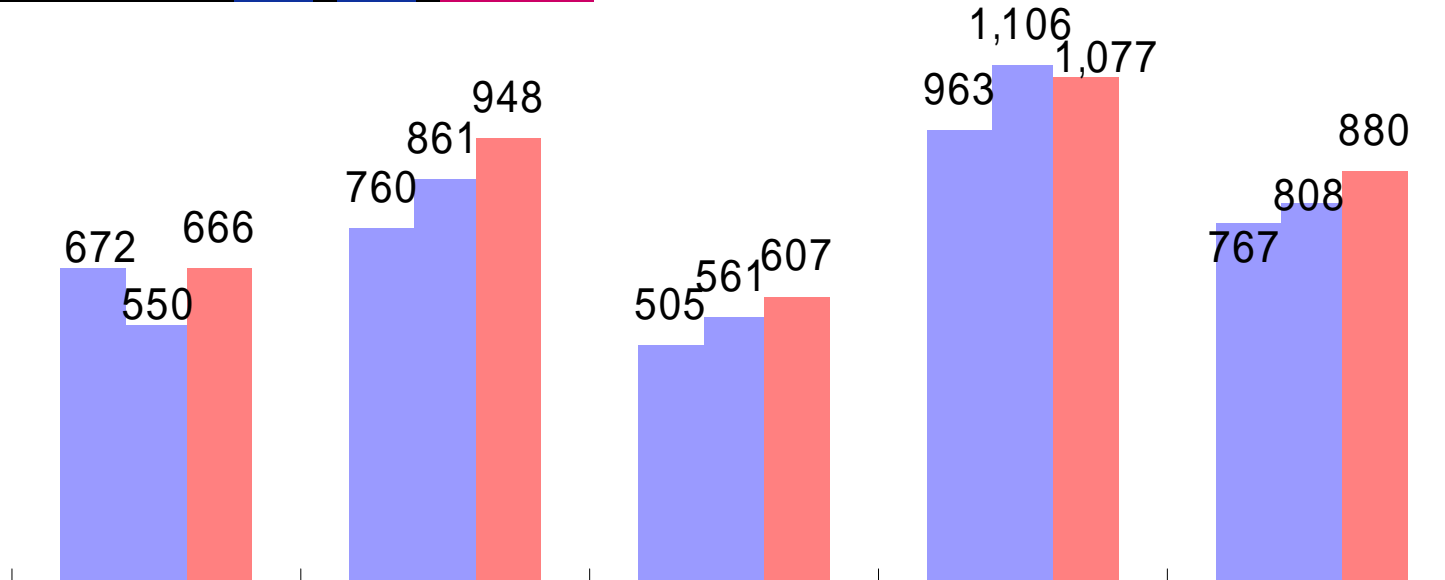
営業利益率3.8% (07/3目標5%)

2005年度上期ハイライト

セグメント別上期売上高

グラフ 左から、03上、04上、05上実績

単位: 億円



情通

国内FTTH
好調

エネ・産機

銅価アップ
半導体テープ
発泡樹脂増

金属

銅価アップ
IT回復基調

軽金属

厚板減少

電装・エレ

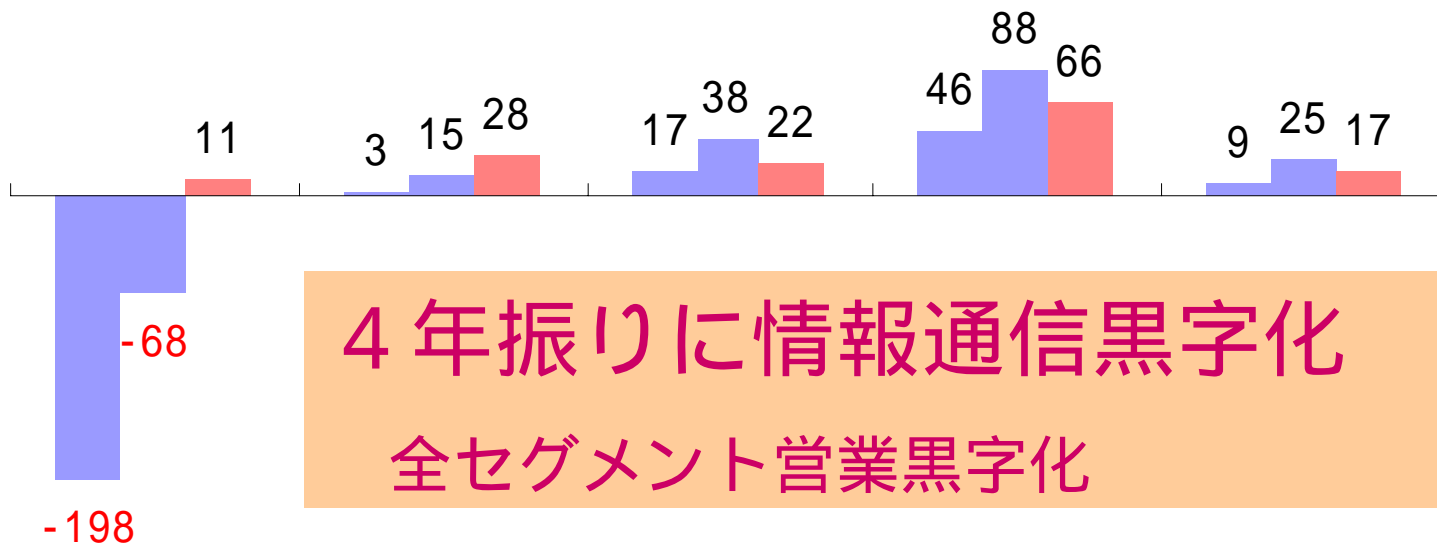
銅価アップ
ディスク, アンテナ
好調

2005年度上期ハイライト

セグメント別上期営業損益

単位: 億円

グラフ 左から、03上、04上、05上実績



4年振りに情報通信黒字化
全セグメント営業黒字化

情通

構造改革
効果、
FTTH好調

エネ・産機

半導体テープ、
発泡樹脂好調

金属

IT調整長期
化

軽金属

厚板減少
燃料高騰

電装・エレ

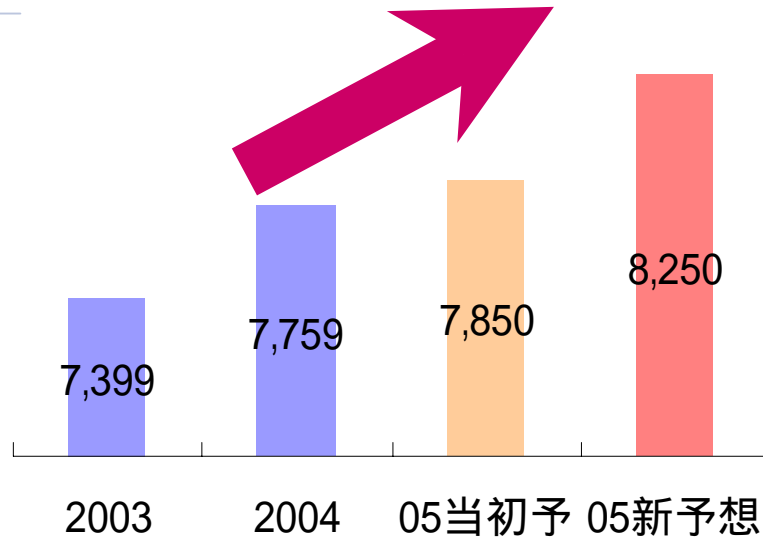
自動車モデル
チェンジ'端境期

2005年度通期プラン

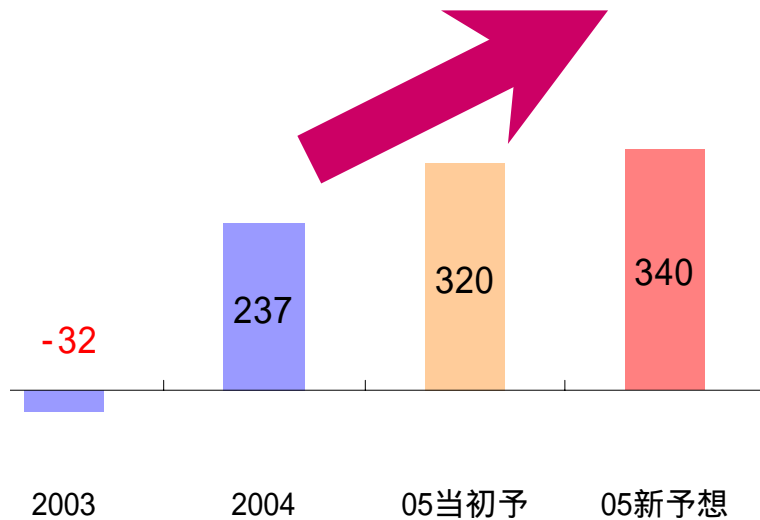
営業利益予想320億円超へ

単位: 億円

通期売上高予想



通期営業損益予想



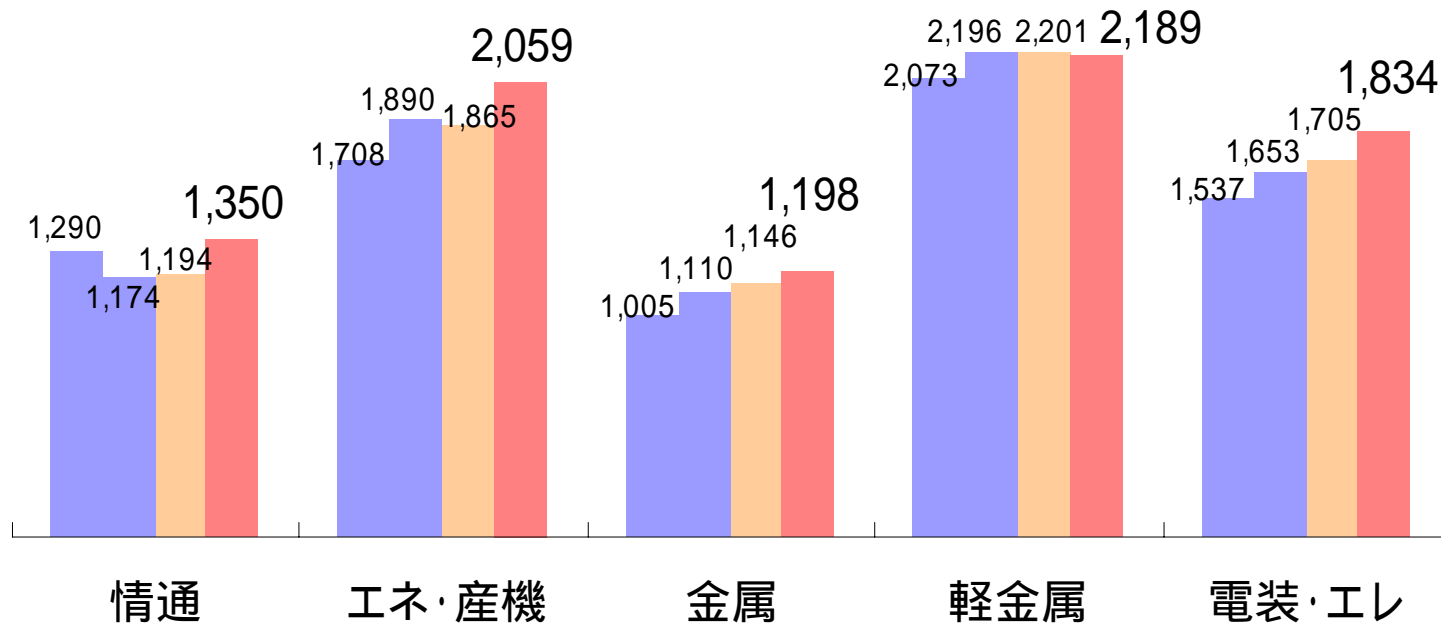
営業利益は前年比 + 103億円 (+43%) の予想

2005年度通期プラン

セグメント別通期売上高予想

グラフ 左から、03、04、05当初予想、05通期予想

単位：億円



情報通信は国内FTTH需要本格化、エネルギー・産業機材は電力・建設需要好調、電装・エレクトロニクスは自動車が牽引、金属・軽金属はエレクトロニクス回復に期待

2005年度通期プラン

セグメント別通期営業損益予想

単位: 億円

グラフ 左から、03、04、05当初予想、05通期予想



情報通信 + 109億円 (前年比)

エネルギー・産業機材 + 28億円

電装・エレクトロニクス + 5億円改善で

金属、軽金属をカバー

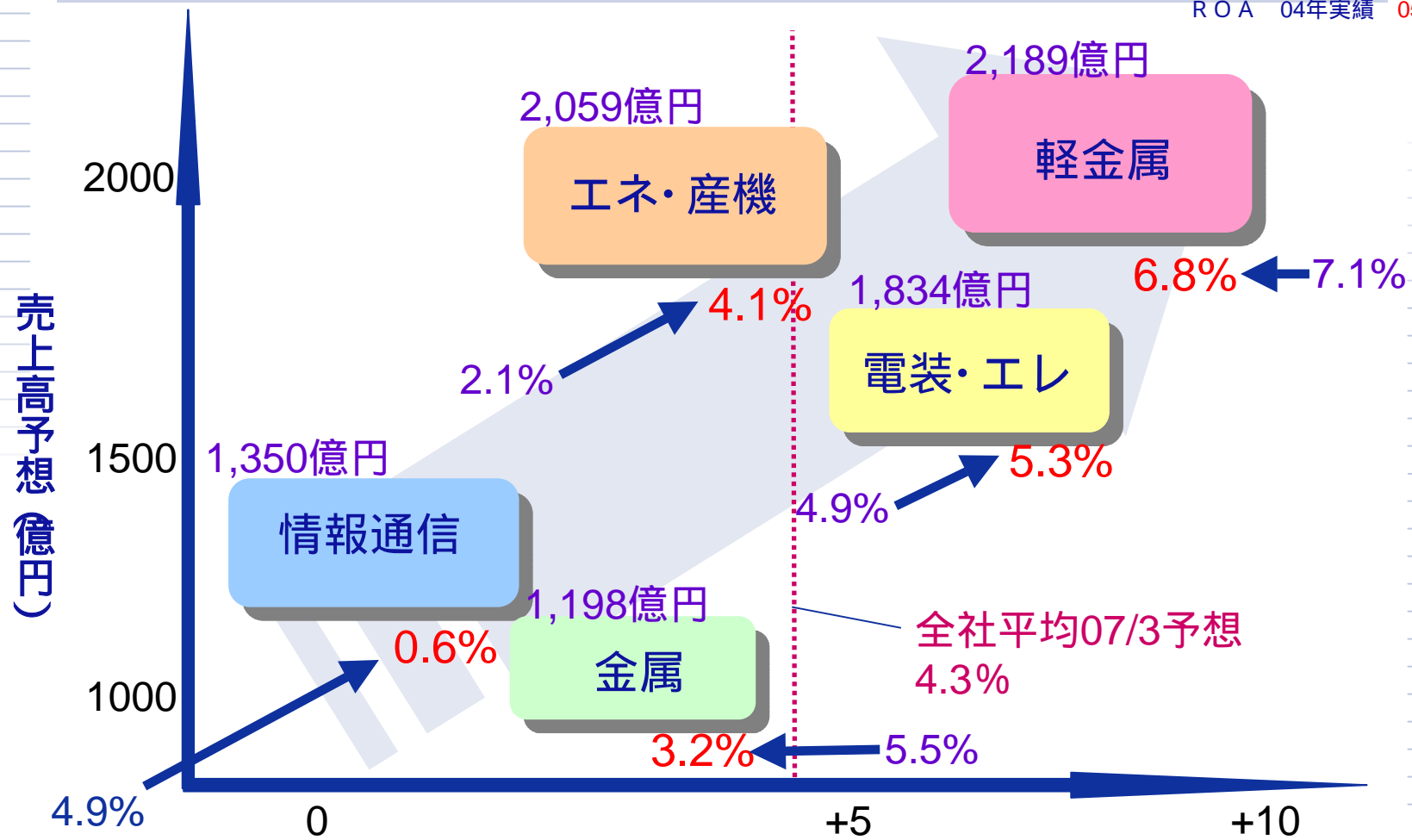
2005年度通期プラン

06/3セグメント別ポートフォリオ予想

05売上高予想

セグメント名

ROA 04年実績 05年予想



ROA 予想 (営業損益 / 総資産)



主な経営指標

(単位:億円)

	04/3	05/3	05/9	06/3予想
売上高利益率 (営業損益 / 売上高)	-0.4%	3.1%	3.8%	4.1%
総資産回転率 (売上高 / 総資産)	0.7	0.8	0.8	0.8
ROA (営業損益 / 総資産)	-0.3%	2.4%	3.0%	3.4%
ROE (当期純損益 / 株主資本)	-83.9%	9.0%	1.2%	7.7%
有利子負債残高(億円)	5,847	4,823	4,807	4,507
		(1,025)	(1,040)	(1,340)
D/Eレシオ	3.5	2.7	2.5	2.3

年率換算

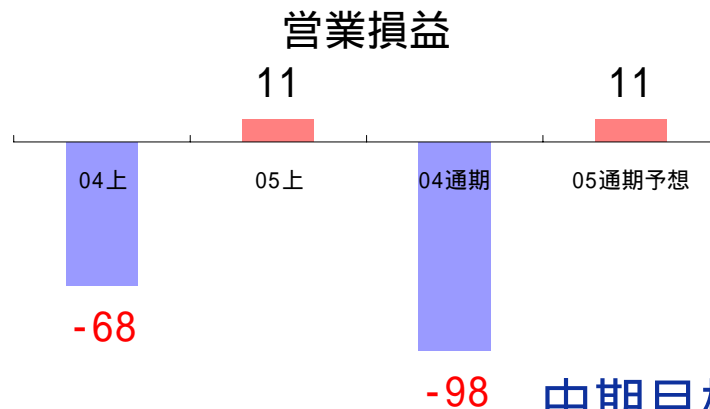
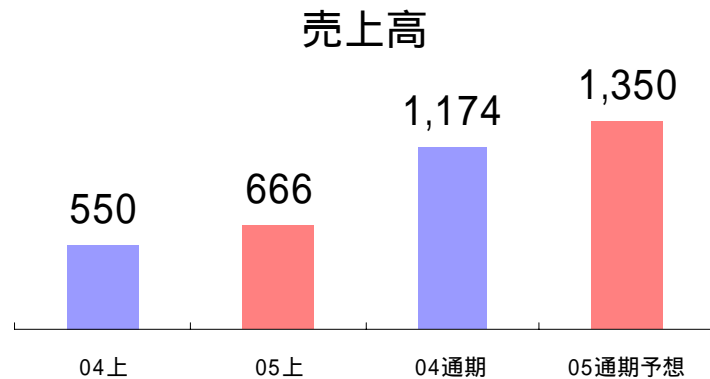


セグメント別事業プラン

前年比アップ 前年比ダウン
(上:売上高 下:営業損益) (単位:億円)

	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度 新予想	2006年度 中期目標
情報通信	2,059	2,112	1,514	1,290	1,174	1,350	1,262
	400	56	-607	-313	-98	11	38
(光ファイバ・ケーブル)	956	1,094	871	766	701	797	789
	95	51	-524	-240	-97	-21	21
(フォトニクス・ネットワーク)	1,103	1,018	644	524	473	553	473
	304	5	-83	-73	-1	32	17
エネルギー・産業機材	1,730	1,645	1,472	1,708	1,890	2,059	1,932
	5	19	35	38	31	59	47
金属	902	831	877	1,004	1,110	1,198	1,162
	65	-10	15	48	60	36	56
軽金属	2,145	1,920	1,971	2,073	2,196	2,189	2,268
	46	29	68	117	163	158	207
電装・エレクトロニクス	1,473	1,358	1,396	1,537	1,653	1,834	1,791
	39	-13	17	47	57	62	68
サービス他	340	335	298	319	327	337	379
	26	25	30	31	24	22	24
消去	-379	-487	-424	-533	-592	-717	-644
	-	-	3	-	-	-8	-10
合計	8,270	7,714	7,106	7,399	7,759	8,250	8,150
	581	107	-438	-32	237	340	430

情報通信事業プラン



(単位: 億円)

05上期実績

構造改革とFTTH需要増で黒字化
実現

【売上高】+21% (前年同期比)

【営業損益】+79億円 (前年同期比)

05通期予想

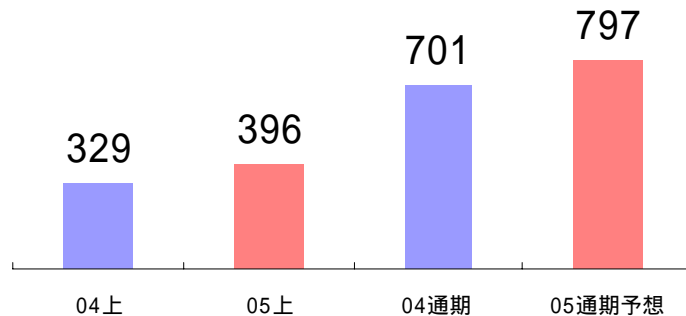
FTTH関連へ注力で営業損益109億
円改善へ

国内FTTH需要続く

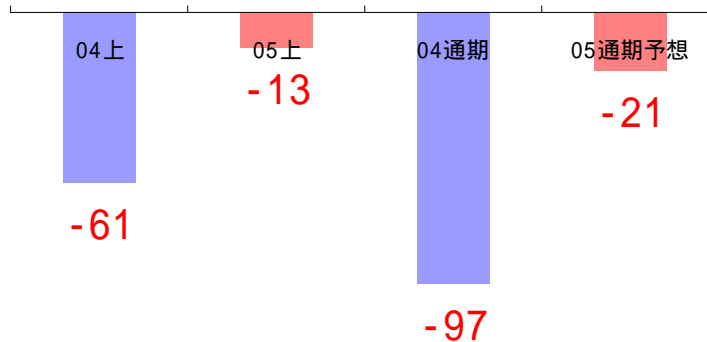
中期目標：「06年度連結黒字化」に対し、
1年前倒しで達成の見込み

情報通信事業プラン 光ファイバ・ケーブル

売上高



営業損益



(単位: 億円)

05上期実績

【売上高】 +20% (前年同期比)

+ 要因: FTTH関連ビジネス好調

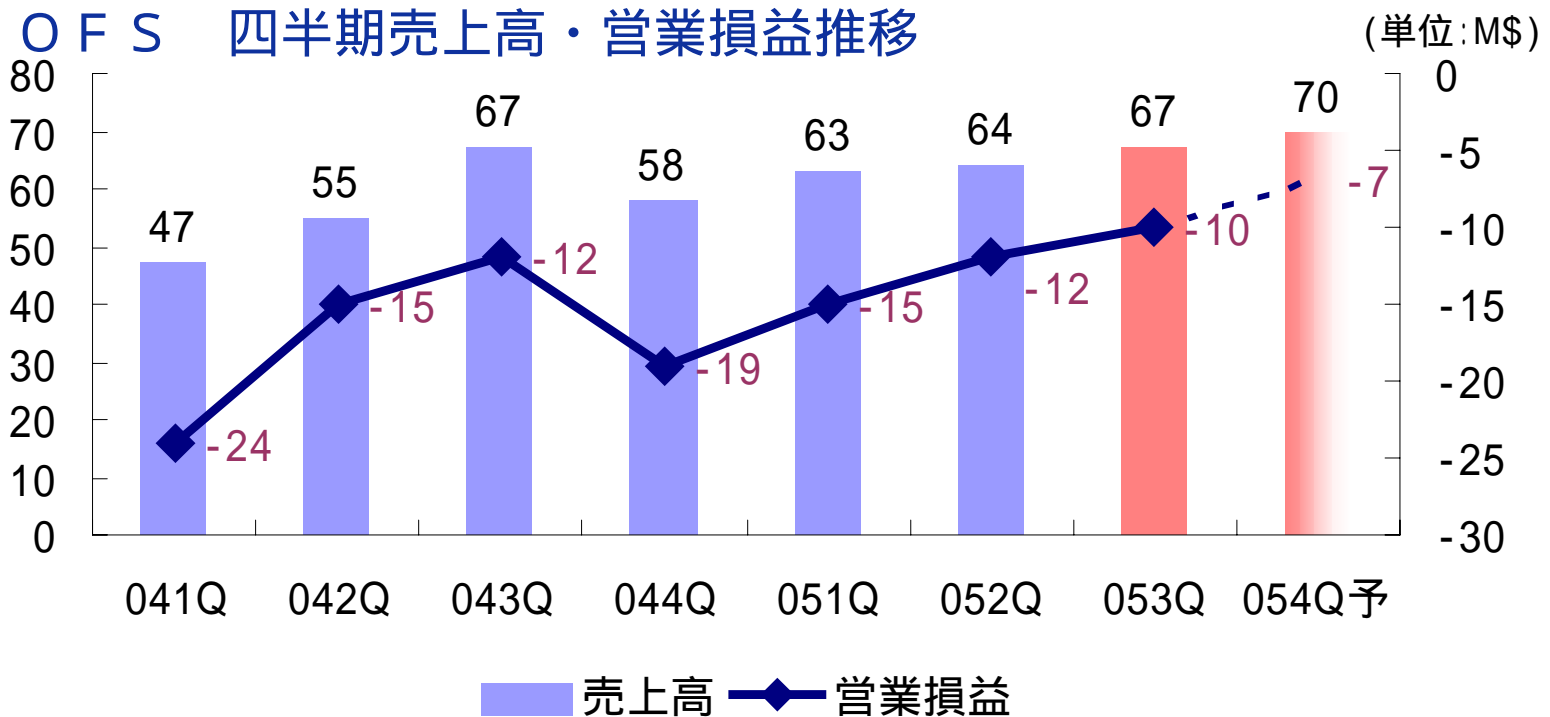
【営業損益】 +48億円 (前年同期比)

+ 要因: 事業構造改革効果

05通期予想

営業損益76億円の改善へ

情報通信事業プラン OFSビジネス

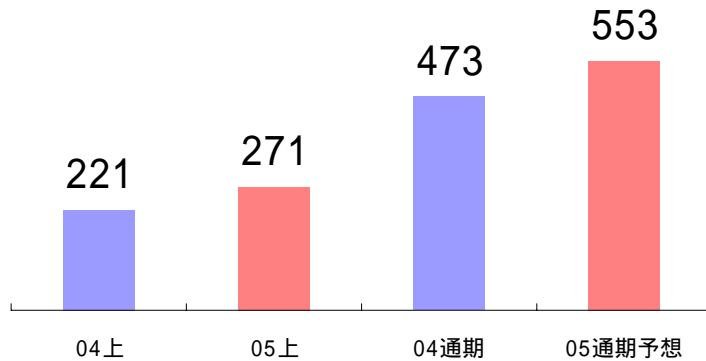


ファイバ・ケーブル - FTTxバックホーン向け受注拡大
 スペシャルティファイバ - 増収増益

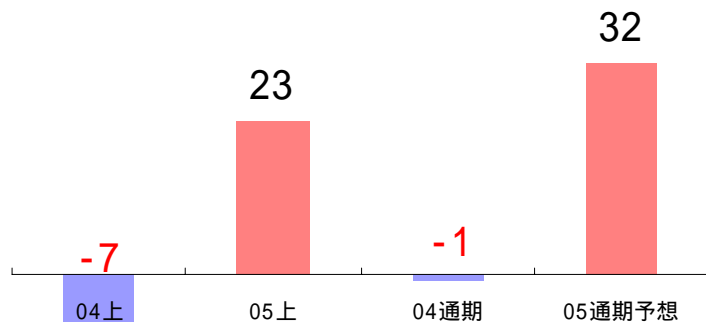
年度EBITDA
 黒字化へ

情報通信事業プラン フォトニクス・ネットワーク

売上高



営業損益



単位: 億円

05上期実績

【売上高】 +23% (前年同期比)

+要因: 国内FTTH向け光部品好調

欧米・中国向けアンプ・レーザ好調

【営業損益】 +30億円 (前年同期比)

+要因: 海外生産移管によるコストダウン

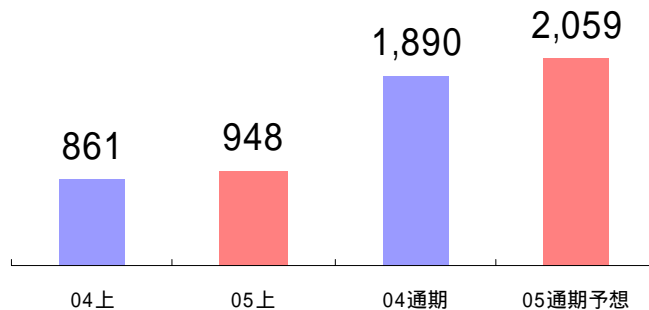
05通期予想

国内FTTH本格化で需要増

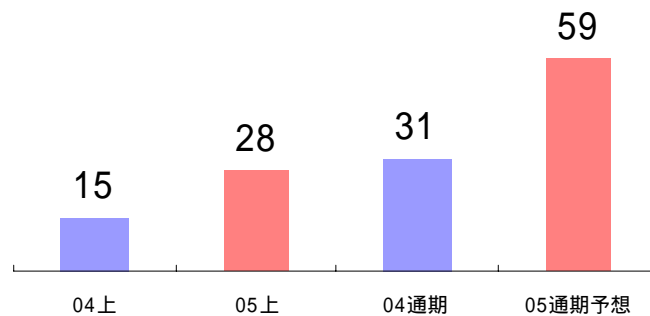
海外WDMは欧州・中国へ展開

エネルギー・産業機材事業プラン

売上高



営業損益



(単位：億円)

05上期実績

エネルギー事業：

構造改革、電力需要回復、産業電線値戻し進展

産業機材事業： プラスチック製品好調

【売上高】+10% (前年同期比)

+ 要因：銅価アップ、発泡樹脂、半導体テープ増

- 要因：電力分社化(ヒスキャス-持分法)

【営業損益】+13億円 (前年同期比)

+ 要因：発泡樹脂、半導体テープ増

05通期予想

国内外電力需要堅調、プラスチック需要急増

エネルギー・産業機材事業プラン

【エネルギー事業】

超高压電力：電力アライアンス順調、初年度上期黒字スタート、

05売上高見通し500 600億円に上方修正

中低压産業電線：堅調な建設向けと車両・船用電線好調、同250 300億円

銅線：銅価アップ、需要好調、同500 650億円

【産業機材事業】

05売上高目標 250億円 プラスチック分野は成長持続

発泡製品：

- ・独トロセレン社買収 - 欧州に拠点

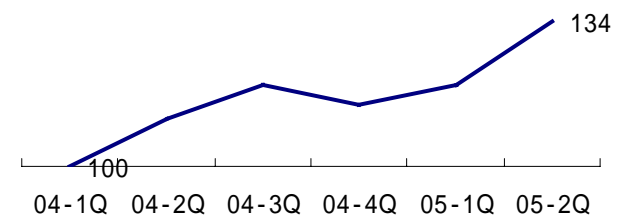
- ・液晶TV向けMCPET、アスベスト代替フネエース好調

AT製品：

- ・半導体用ダイシング・ダイボンディング・フィルム急増

産業機材事業の伸び率

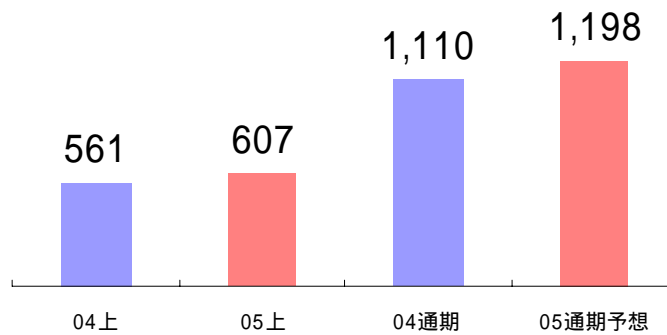
(売上高、04年1Q = 100)



金属事業プラン

05上期実績

売上高

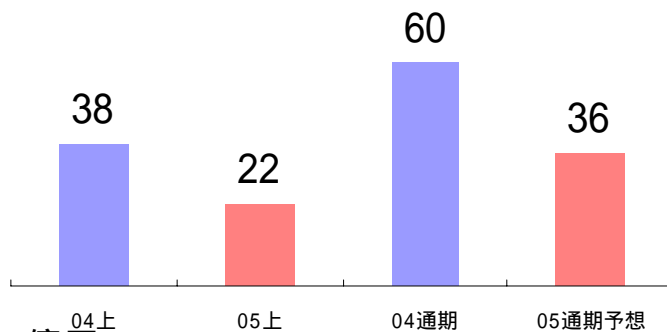


【売上高】 +8% (前年同期比)

+要因：銅価アップ、半導体向け回復傾向

-要因：条系調整長期化、国内銅管減少

営業損益



【営業損益】 - 15億円 (前年同期比)

-要因：I T 向け低調

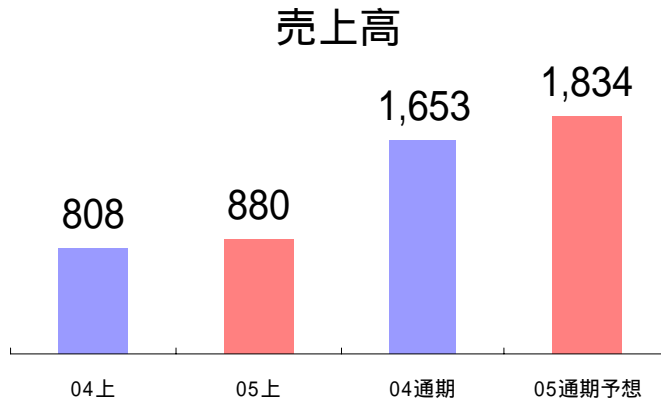
05通期予想

I T 需要の本格回復に期待

(単位：億円)

電装・エレクトロニクス事業プラン

05上期実績



【売上高】 + 9% (前年同期比)

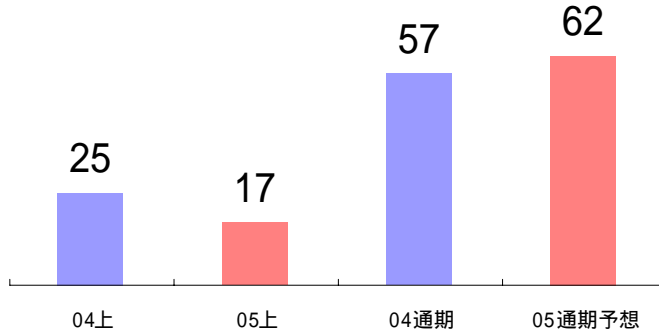
+ 要因：銅価アップ、メモリスティック・アンテナ好調

- 要因：自動車モデルチェンジ端境期

【営業損益】 - 8億円 (前年同期比)

- 要因：自動車モデルチェンジ端境期

営業損益



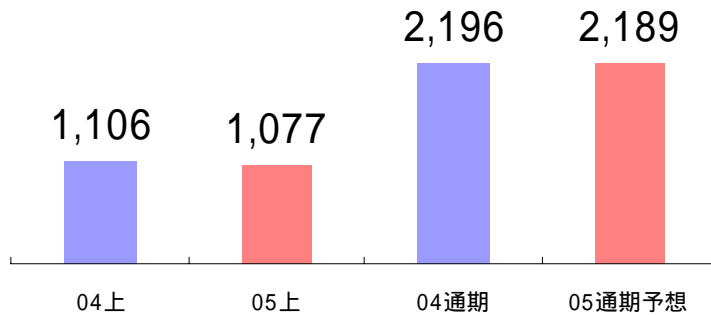
05通期予想

自動車用ハーネスは新型モデル搭載で回復、メモリスティックは好調持続

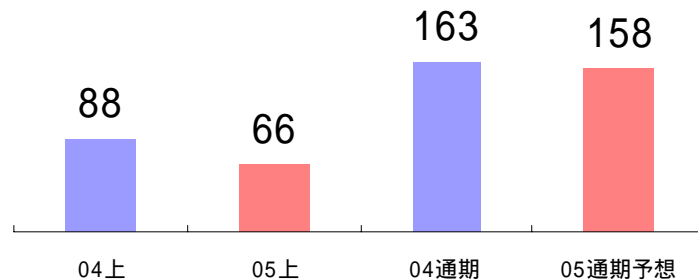
(単位：億円)

軽金属事業プラン

売上高



営業損益



単位: 億円

05上期実績

【売上高】 - 3% (前年同期比)

- 要因: 液晶・半導体製造用厚板の
需要停滞

【営業損益】 - 22億円 (前年同期比)

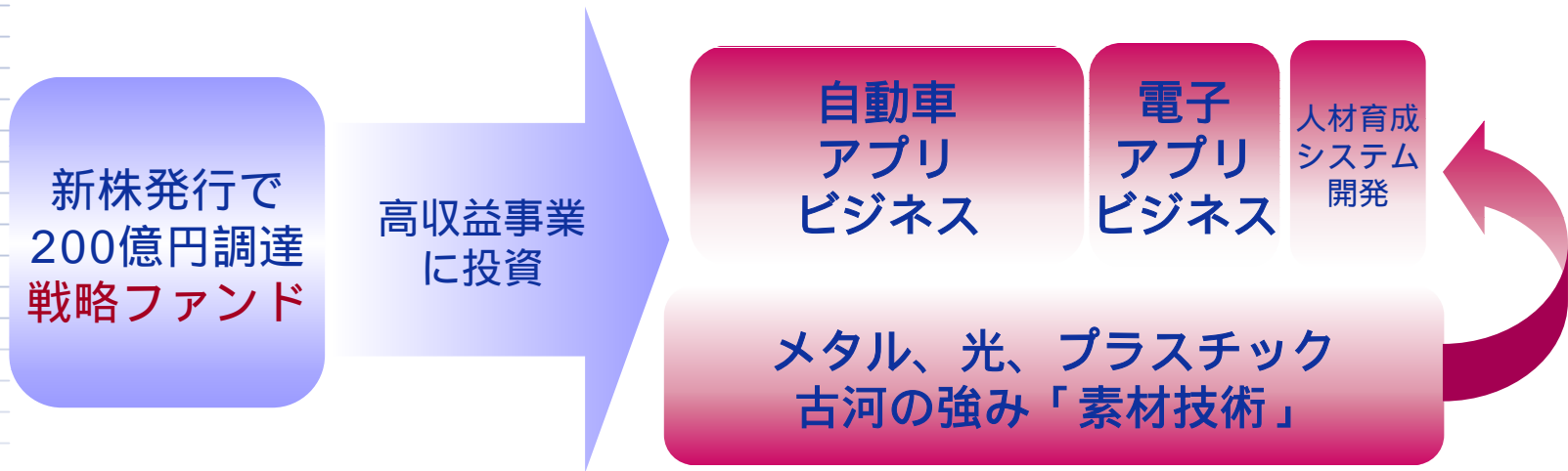
- 要因: 減収、石油関連コスト増

05通期予想

IT関連製造業の業況改善による厚板需要改善に期待

12月2日上場に向けファイナンス中

戦略ファンドは将来像を投影



タイに自動車電装部品会社を設立

エアバッグ用コネクタ強化

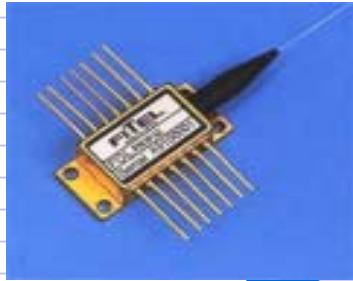
独トロセレン社を買収

素材技術【プラスチック】 アプリ【自動車内装材】

機能性素材力の強化

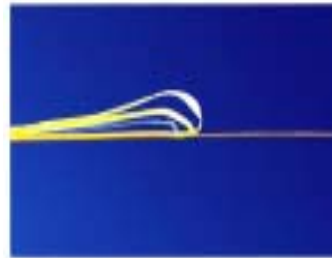
特色あるアプリケーションビジネスへ展開

機能性素材技術で世界トップシェア製品を創出



光アンプ用ポンプレーザ

80%



小型トランス用3層絶縁電線TEX-E

50%



エアバッグ用コネクタSRC

35%

『素材力』が生み出す高信頼性



ハードディスク用アルミblank材

50%



LNGタンカー・タンク用アルミ厚板

80%



液晶TVバックライト反射板用発泡シートでブランド確立



半導体プロセス用テープ急伸

We can.

将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、例として以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- ・米国、欧州、日本その他のアジア諸国の経済情勢、特に個人消費及び企業による設備投資の動向
- ・米ドル、ユーロ、アジア諸国の各通貨の為替相場の変動
- ・急速な技術革新と当社グループの対応能力
- ・財務的、経営的、環境的な諸前提の変動
- ・諸外国による現在及び将来の貿易規制等
- ・当社グループが所有する有価証券等の時価の変動

従いまして、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは大きく異なる場合があることをご承知おき下さい。なお、当社グループは、この資料の本リリース後においても、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。

著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、古河電気工業株式会社に帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。